

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	20	①		出題範囲は、各時点で学習した内容とする。 小テストの点数を平均して判定する。 1. 授業内容を理解できているか（講師が口頭で伝えたことを記憶できたか）確認する。 2. 授業内容から得たことをどのように受け止め感想を持てたか。 3. 予習復習による習熟度を確認する。 手書きにて記入する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④			
				⑤			
		レポート	40	①	✓	1. 予習、復習。個々に進めた自主学習のレポートを2回提出する。 評価割合20（例：所作や点前手順のまとめ。知識、人物についてなど各々課題設定） 2. 茶会后レポート。用紙は事前に配布され家庭で作成をすすめ、最終日（茶会の後）に提出する。授業に欠席すると記入できない項目がある。 評価割合20（例：茶道を体験し、何を身に着け、何に気づいたか。茶道学習を今後の活動にどのように繋げられるか、興味・見解を自分の言葉で書く。） 手書きにて作成する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	前半の学習 ・稽古での、各自の成長度合いを評価する。自宅学習の成果を評価する。（茶室での振る舞い、稽古の取り組み方、応答や習った所作の実技や和敬の心に対する理解など） ・口伝での授業や掲示物や板書の内容把握度合いや対応能力の向上を評価する。 ・茶道用具の準備が期限内にできたか。 ・他に迷惑になる言動、失敗した場合などは、反省し速やかな報告連絡相談ができるか。 後半の学習 ・まとめの茶会の評価（10週目以降の評価） 上記の前後半の学習を総合して評価する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）他者のすべて（言動、技術、学習姿勢、成長、失敗など）をよく見学し素直に学ぶことができる。 （実行力）自分のことを優先せず和敬の心で取り組むことができる。 （課題発見力）自主学習でよく学び、稽古に取り組むことで、自分自身と向き合う努力ができる。 （創造力）茶道を生活に取り込むとどのように変化が起こるか、考える努力が出来る。 （発信力）学習で得た知識・精神、所作をもとに、茶室においてそれらを表現する努力ができる。 （傾聴力）うなづきをもって話を聞き、素直に受け止めることができる。 （情況把握力）茶会・茶道稽古を成功させるべく、自分の役割を考えて協力することができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず授業を円滑に進行するようルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>（優）＝規律が守れ傾聴力を発揮・積極的に修練を積み・点前や所作の習得した（学習前との成長がある）。茶道の知識や禅語を理解する努力をする。「和敬清寂」の精神を学び、道具や相席のものへ敬意を払い感謝の心を表現しようとする。以上を稽古中と小テスト・レポートの出来栄で評価する。</p> <p>（秀）＝（優）に加えて、提出物の出来栄が特に具体的で優れている。または実習（学習前との成果がある）で他の良き見本となる能力を発揮する。更に、道具、茶花、菓子などに興味を持ちそれにまつわる人物・季節感・味などに感想をもて、茶道を生活に生かすことを考えることが出来る。以上を実習中、小テスト・レポートの出来栄で評価する。</p>	<p>（可）＝ルールを守り、うなづきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。提出物を提出できる。（良）＝（可）に加えて、他者を手本として学び、所作（学習前との成果がある）や道具の名称、用語を記憶し稽古を円滑に行う努力をした。「和敬」の精神を学び「おいしくお茶をいただく」ことができた。以上を稽古中と小テスト・レポートの出来栄で評価する</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	茶道用具や身支度、ルールについて。和敬清寂、表千家について所作(歩く立つ座る礼など)	プリントにて座学。所作実習 稽古中の言動につき、段階に応じた修正・改善点をしめす。	シラバスの内容を読み、茶道にのぞむ心構えと茶道用具の準備が期限内にできる。	茶道用具の準備や身支度を整えるための準備。1週目習った所作実践し復習。用具購入。茶道用具の名前を覚える。テキストも活用する。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	割稽古 所作稽古 茶道の知識	プリントにて座学。割稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習)稽古中の言動につき、段階に応じた修正・改善点をしめす。	ルールを守りシラバスとプリントの内容をよみ、茶道にのぞむ心構えと身支度の準備ができる。	1～2週目習った所作実践と知識の復習をし、記録をまとめる(レポートの準備兼ねる) シラバスを読み予習。茶道用具の名前を覚える。テキストも活用する。	150	主体性 傾聴力 規律性
3	割稽古 所作稽古 茶道の知識 (床についてと拝見など)	割稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習)稽古中の言動につき、段階に応じた修正・改善点をしめす。 小テスト(返却時に理解不足な点は助言を記入するか、次回以降稽古内で補足する。)	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。	「茶道ことはじめ」プリントを読み予習1～3週目習った所作実践と知識の復習をし、記録をまとめる(レポートの準備兼ねる)シラバスを読み学習。茶道用具の名前使い方を覚える。テキストも活用する。	150	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	割稽古 所作稽古 茶道の知識	割稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習)実技、協力稽古中の言動につき、段階に応じた修正・改善点をしめす。	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。	1～4週目習った所作実践と知識の復習をし、記録をまとめる(レポートのまとめ)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習。特に茶道用具と道具の名前使い方、用語を覚える。シラバスを読みテキストも活用する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	割稽古 所作稽古 まとめ 茶道の知識	割稽古実習(第5週目までは基礎の所作と点前所作を部分的に学習)小テスト(返却時に理解不足な点は助言を記入するか、次回以降稽古内で補足する。) 実技、協力稽古中の言動につき、段階に応じた修正・改善点をしめす レポート提出(返却時に理解不足な点は助言を記入するか、次回以降稽古内で補足する。)	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。	1～5週目部分的に習った点前を文及び図で記録し復習する(レポートの準備兼ねる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習。特に茶道用具と道具の名前使い方、用語を覚える。シラバスを読みテキストも活用する。	150	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第9週目まで班に分かれて順に実習) 実技、協力稽古中の言動につき、段階に応じた修正・改善点をしめす。	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。	1～6週目部分的に習った点前を文及び図で記録し復習する(レポートの準備兼ねる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習。シラバスを読みテキストも活用する。	150	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第9週目まで班に分かれて順に実習)実技、協力稽古中の言動につき、段階に応じた修正・改善点をしめす。	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。相席のものに礼・挨拶する努力ができる。	1～7週目部分的に習った点前を文及び図で記録し復習する(レポートの準備兼ねる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習。特に茶道用具と道具の名前使い方、用語を覚える。シラバスを読みテキストも活用する。	150	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	点前・客の割稽古 茶道の知識	稽古(第9週目まで班に分かれて順に実習)実技、協力稽古中の言動につき、段階に応じた修正・改善点をしめす。	ルールを守りうなずきをもって傾聴し稽古に取り組む努力ができる。 和敬の精神を考える努力ができる。	1～8週目部分的に習った点前を文及び図で補足記録し復習する(レポートの準備兼ねる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習。特に茶道用具と道具の名前使い方用語を覚える。シラバスを読みテキストも活用する。自分なりに茶会を想像し役割や希望、目標が持てるよう準備する。	150	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	点前・客の稽古まとめ 茶道の知識	稽古(第9週目まで班に分かれて順に実習) 実技、協力 稽古のまとめとして取り組み方や点前の出来栄を総括し、今後の課題をしめす。レポート提出(返却時に理解不足な点は助言を記入するか、次回以降稽古内で補足する。)	ルールを守り うなずきをもって傾聴し積極的に稽古に取り組む努力ができる。 和敬の精神を考える努力ができる。	1~9週目習った点前を文及び図で補足記録し復習する(レポートをまとめる)「茶道ことはじめ」プリントを読み学習 特に茶道用具と道具の名前使い方用語を覚える。シラバスを読みテキストも活用する。自分なりに茶会を想像し役割や希望、目標が持てるよう準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	大寄せの茶会について 学習。1 (おいしいお茶を点てること。おいしくお茶をいただくこと。)	座学 チームごとに会議。質問、応答、協力などおこなう。 割稽古 「茶会レポート」の最終課題提示。	チームに協力し、自身の担当と全体の茶会ながれを把握する努力をする。 和敬の精神を考える努力ができる。	茶会の学習内容で不明な点は解消しておく。稽古の復習。今までの所作復習と知識復習すること。シラバスを読みテキストも活用する。 レポート課題を書きすすめる。 「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	大寄せの茶会について 学習。2 (おいしいお茶を点てること。おいしくお茶をいただくこと。)	座学 チームごとに会議。質問、応答、協力などおこなう。 割稽古	チームに協力し、自身の担当と全体の茶会ながれを把握する努力をする。 和敬の精神を考える努力ができる。	茶会の学習内容で不明な点は解消しておく。稽古の復習。今までの所作復習と知識復習すること。シラバスを読みテキストも活用する。 レポート課題を書きすすめる。 「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	主客に分かれて茶会①②の稽古 (おいしくお茶を点てること。おいしくお茶をいただくこと。)	茶会の稽古 (主客いれかえて実習し、各チーム事により良くするための修正を行う) 実技、応答、協力 10週目以降示された課題の取り組み方や出来栄について、修正・改善点をしめす。	チームに協力し、自身の担当と全体の茶会ながれを把握する努力をする。 和敬の精神を考える努力ができる。	今までの所作復習と知識復習すること。シラバスを読みテキストも活用する。 レポート課題を書きすすめる。 茶会①②の役割確認と身支度を整える。シラバスを読みテキストも活用する。 「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	主客に分かれて茶会①②の稽古 (おいしくお茶を点てること。おいしくお茶をいただくこと。)	茶会の稽古 (主客いれかえて実習し、各チーム事により良くするための修正を行う) 実技、応答、協力 10週目以降示された課題の取り組み方や出来栄について、修正・改善点をしめす。	チームに協力し、自身の担当と全体の茶会ながれを把握する努力をする。 和敬の精神を考える努力ができる。	茶会①②の役割確認と身支度を整える。シラバスを読みテキストも活用する。 レポート課題を書きすすめる。 「大寄せの茶会」についてプリントを読み予習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	まとめ 茶会を楽しむ① (主は、静寂の中もてなす。客は、主旨をうけとめる。)	茶会体験 (主または客のみ。) 総括に於いて発言 実技、応答、協力 レポートへ茶会感想を記入	稽古を踏まえ、心静かに茶会の一員として行動し茶会を楽しむことができる。 和敬の精神を考える努力ができる。	茶会①②の役割確認と身支度を整える。 「レポート課題を書きすすめば完成させ15週目終了時提出できるようにする。大寄せの茶会」についてプリントを読み予習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	まとめ 茶会を楽しむ② (主は、静寂の中もてなす。客は、主旨をうけとめる。) 総括	茶会体験 (主または客のみ。) 総括に於いて発言 実技、応答、協力 レポートへ茶会感想などを記入。完成させて提出。	稽古を踏まえ、心静かに茶会の一員として行動し茶会を楽しむことができる。 和敬の精神を考える努力ができる。		0	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力